

阪神淡路大震災10周年 避難訓練 播磨南小学校



▲机の下に頭をかかせ!

避難場所の運動場で人数確認や負傷者の確認後、10年前の大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈り、避難訓練参加者全員で黙禱を捧げました。

「しゃべらない」「避難するときに守るべき決まりを、児童はしっかりと守り、避難は混乱なくスムーズに行われ、その後児童の引き渡し訓練もすみやかにできました。



▲落ちついて、さあ避難

阪神・淡路大震災が起こってから10年目となる今日、避難訓練と保護者への児童引き渡し訓練を行いました。終わりの会の時間に、震度6弱の地震が起きたという想定で、訓練が始まりました。地震が起こった時、教師の指示で児童はまず机の下にもぐりました。児童は机の脚をしっかりとつかみ、地震が収まるのを待ちました。係の教師による被害状況および避難経路確認後、避難指示が本部より出され、避難が開始されました。「押さない」「走らない」「しゃべらない」の避難するときを守るべき決まりを、児童はしっかりと守り、避難は混乱なくスムーズに行われ、その後児童の引き渡し訓練もすみやかにできました。

「兵庫おもしろパーク」で我が兵庫県、再発見!



▲「よいよいよ出番だー!」



▲「よくわかったよ、お見きたー、とっせいの陣」

蓮池小学校4年生
「よいよいよ出番だー!」
「よくわかったよ、お見きたー、とっせいの陣」
丹波焼きの体験学習から始まり、その学習を生かして4つの地方の調べ学習へと進みました。交通は? 地形は? 特産物は? 気候は? 有名人は? 調べ学習で次々と解き明かされるそれぞれの地方の素晴らしさ。その感動や驚きを基に、〇×クイズにも挑戦しました。
そして発表会。「日替わり4問〇×クイズ」で全校生を迎え、数多くのすてきを託した劇、コント、ニュース、紙芝居。子どもたちの表現活動の声が教室に響きました。「兵庫おもしろパークを開こう」と発信する中で、頑張りとお実感が得られた4日間でした。



「7日は淡路デー、8日は阪神デー、9日は但馬デー、10日は播磨デーです。手作りの丹波焼きも展示します」児童朝会で紹介する4年生。
いよいよ「兵庫おもしろパーク(総合)」の発表会です。

「色々な体験や出会いから…」

播磨西小学校



▲ご指導いただきありがとうございました

5年生は、福祉体験をしました。初めに、点字サークルの方々に来ていただいて、点字を実際に読んで、打ったりしました。「点字の勉強は楽しかったけど疲れた。こんな難しいのをよく覚えらるなあと思った」とも難しかった。「あいつえお」だけ覚ええました。全部覚えて、いろんな所にある点字を読んでみたい」という感想が出ました。
次に、目の不自由な方が盲導犬と一緒に来て、日常生活や色々な思いを話していただきました。子どもたちは、ふだん思っていることや、話を聞いて疑問に思ったことを熱心に質問していました。
今後は、これらの体験をもとにして、さらに点字を追求したり、環境を新しい目で見直したり、自分たちでできることを考えていく予定です。

『巣箱』作り—緑の少年団の活動より—

播磨北小学校



▲慎重に作業が進みます

「寸法をまちがえたら大変だ!」「のこぎりがスムーズに引けないよ!」
幅18センチメートル長さ1メートルの杉板に、設計図通りに線を引き、のこぎりで切っています。

5年生は3学期「緑の少年団」の活動として「巣箱」作り挑戦しています。切った板にくぎを打ち付け、天板を蝶番で取り付けて仕上げます。この巣箱は、ヤマガシラやシジュウカラなどの野鳥が利用する大きさです。でき上がった巣箱は、木に掛けるつもりです。野鳥たちが、「すてきな巣箱だなあ」と思って住みついてくれるよう、心を込めて作りたいと思います。

盛り上がった百人一首大会

播磨中学校



「六段の調べ」ののって入場してきた1年生。冬休みの課題に取り組んだ成果を發揮して、あちらこちらで上の句を詠んだだけで「ハイ」「ハイ」という元気な声が聞こえてきました。「12枚しか取れなかった」「また来年もしたい」「ドキドキしたけどとっても楽しかった」という色々な感想を持って、日本古来の伝統行事に触れた半日でした。

冬の交通安全指導

播磨中学校



▲「おはようございまーす」

1月17日(月)から21日(金)、冬の交通安全指導があり、保護者の方に協力をお願いしました。寒い中登校する子どもたちは、明るい笑顔で挨拶され、照れながらも和やかな気持ちになっていました。

～大震災の教訓を未来へ～

「震災10年集会」 播磨小学校



▲新潟に向けてエールを送ります

集会後、「中越地震被災地の児童を励ます絵や文章を書いて送ろう」と、各クラスで取り組むことになりました。
播磨っ子たちの温かいエールが、雪深い新潟にも届きますように。



被災直後の街並みや燃え盛る火災の様子などが記録ビデオで映し出されるたびに、大きな驚きの声が上がりました。また、震災をより身近なところで体験した3人の教師による臨場感溢れる話に、子どもたちはじっと聞き入る様子もみられました。そして、命の尊さ、水や食べ物のありがたさ、助け合うことの大切さなどを実感できたようです。

阪神・淡路大震災の経験と教訓をけつして風化させることなく、次世代を担う子どもたちに伝えると共に、防災意識を高めようと、全校生で「震災10年集会」を行いました。

スマトラ島沖地震募金活動

播磨南高等学校



▲ご協力よろしく申し上げます

阪神・淡路大震災から10年を迎えるにあたり、被害を受けた私たちに今出来ることは何かと生徒会で考えたところ、募金活動ではないかと意見が一致しました。そこで1月18日(火)より31日(月)まで「スマトラ島沖地震」の募金を全校生徒に呼び掛けました。

募金活動は、昼休みを利用して本館2階コモンホールで行いました。本校にも10年前の「阪神・淡路大震災」により、甚大な被害を受けた生徒、職員が少なからずいます。また直接被害を受けていなくても、身内や知り合いが被害にあった人たちもいます。そして多くの人々による心温まる援助活動を受けました。
お陰でたくさんの方が募金活動に参加してくれて、多くの寄付金が集まりました。この寄付金は全額スマトラ島沖地震の援助資金として、送りたいと思います。

～日本一の母校づくりスタート～

新生徒会始動 播磨南中学校



▲新生徒会役員たち

昨年12月13日(月)に行われた生徒会長選挙の結果、柴田光貴君と橋本麻未さんがそれぞれ会長、副会長に選ばれ、1月には2人を中心にした新しい生徒会執行部が、2年生16人でスタートしました。1月15日(土)16日(日)は「リーダー研修会」として江井島少年自然の家(明石市)で、活動方針やスローガンなどについての話し合いをしました。
『日本一の母校と誇れる学校をつくらう』が新しい生徒会の合言葉です。先輩たちが築いてきた南中の伝統を引き継ぎ、全校生が協力して地域に貢献できる日本一の母校づくりを目指します。

娘が3歳のころから嫁ぐまで、我が家ではエレキトーンやピアノの練習の生演奏が聞こえ、私は家事の傍ら楽しんでいました。それらの音色が聞こえなくなり、CDなどを聴いても物足りなく、可能な限りコンサートにも行きまじった。しかし何か音楽に携わりたく思い、友人から中央公民館サークル活動の合唱コーラス声楽アンサンブル「こだま」が楽しいと聞き、子どもが小学生のときに参加していたPTAコーラス以来、何10年ぶりかに参加しました。人前で話したり歌ったりするのは、恥ずかしく苦手ですが、ハーモニーがきれいにはもったときは快感です。

声楽アンサンブル「こだま」のメンバーは、現在男性1人、女性30人で、年齢は20歳代から70歳代と制限が無く、播磨町だけでなく、明石や加古川、高砂からも熱心に足を運ばれています。講師の先生方もピアノ伴奏の先生を含め3人の先生に元気に明るく指導していただいています。

昨年、明石芸術祭音楽のついでに出場したり、公民館まつりや中央公民館での「歌声広場」などで、舞台上がりました。お腹の底から大きな声を出すと、気持ちも晴ればれ、ストレス解消にもなり、気持ちも癒されます。

サークルでは随時、メンバーを募集していますので、一度、練習風景を見学に来てみてください。絶対に一緒に歌いたくなるくらいありません。趣味を共有する友人も多く出来、人生の幅も大きくなるように思います。家に閉じこもりがちだった生活も、月に2度の練習日を心待ちにするようになり

ました。明石市民会館アワーズホールに出場した折や、稲美町コスモホールでの色々なコンサートを聴いた折に、播磨町にもこのようなホールがあるとよいのにと感じます。クッションのよい椅子に腰掛けて、カラフルなライトの当たる舞台を眺め、心に残るサウンドで感動したい。いつかこの希望が実現し、これからの世代を担っていく子どもたちにも多く実感して欲しいと心から願っています。

殺伐とした事件を見聞きしたり、ますます低年齢化する悪質な事件などは、何かがおかしい、どこか狂ってきている予感がします。少し昔の、俗に言う3Kは、活い・きつい・危険ですが、今は感動・希望・感謝だそうです。1つでも多く今の3Kを体験し、気持ちを豊かにする努力をしたいと思えます。

あなたに はつたつた

リレーエッセー⑦

出会い



西多 美弥子さん
(北本荘)

趣味 音楽、手芸

わんぱくはりまっ子



ながやま 長山 幸大くん(3さい) まほ 真帆ちゃん(5さい)
野添
いつまでも2人仲よく元気でいてね。
(お父さん・お母さんより)



募集 このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

4月から来るお友達と遊んだよ!



一緒に遊ぼう

蓮池幼稚園
お礼を言われ、照れながらも満足そう。「4月にまた遊ぼうね」と、笑顔で見送りました。



オーストラリアと日本、同じ遊びみつけた!

播磨幼稚園



オーストラリアは今、夏なんだよ

「ストーン(D)・scissors(はさみ)・paper(紙)・GO!!」と英語でジャンケンもしました。外国の話だけど、なんだか身近に感じた楽しいひと時でした。

えいごでジャンケンもしたよ!



おじいちゃん・おばあちゃん、楽しかったね

播磨西幼稚園



たくさん遊んでいただきました



地域の老人会のおじいちゃんやおばあちゃんと楽しく過ごす、ほのぼののデパート。今回はお正月の遊びを一緒にしてもらいました。「こうやって回すんやで」と手を添えて、こまの回し方を教えてくれるおじいちゃん、「ひとめ、ふため」と羽根つきの歌を覚えてくれるおばあちゃん。子どもたちは「うわー、すごいなあ」「上手やなあ!」とおじいちゃん・おばあちゃんの技にびっくりしたり、喜んだりしながら一緒に遊びました。

元気に 走れ! 走れ!

キューピット保育園



冬を元気に過ごすため、保育園では今年も恒例となつている「耐寒かけ足」が始まりました。園庭をリズムミカルな曲と共に全園児が走ります。



▲今日もがんばって走るぞ~!